

国際ロータリー第2840地区

高崎北ロータリークラブ

DISTRICT 2840 ROTARY CLUB OF TAKASAKI NORTH



クラブ会報 **臨時増刊号** 2015年2月25日(水)

2014-2015年度

会 長 高山 秀男 例 会 毎週水曜日 12時30分
幹 事 平田 稔 例 会 場 高崎ビューホテル
事 務 局 〒370-0815 高崎市柳川町70 高崎ビューホテル内
TEL027-330-6060 FAX027-330-6061
E-mail takakita@k1.wind.ne.jp URL http://takakita-rc.org
事務局員 横尾 真実



題字 秋葉猛 君

クラブテーマ「職業奉仕は一丁目一番地」

チリワック・フレイザーR.C訪問報告書

平成27年2月25日

チリワック・フレイザーロータリークラブ訪問団

1. 訪問団メンバー

団長 井田 三義 チリワック・フレイザーR.C友好再開特別委員長
高山 秀男 会長
平田 稔 幹事
島津 文弘 クラブ研修リーダー
大井田健一 親睦活動委員長
小曾根正春 社会奉仕委員長
川本 裕明 プログラム委員

2. 行程・行事

- ・平成27年2月10日(火)羽田発 21:45 所要時間9時間
バンクーバー着 13:45 専用車にてチリワックへ
ホテル=ベストウエスタン・レインボー・カントリー着16時10分
ウォルターさんとギャリー会長の出迎えを受ける。
午後7時から「京都」の看板のあるレストランでウェルカムパーティー
先方10人 + 当方7人 + 通訳1人 = 18人
パーティー後ウォルターさん宅へ コーヒーとアップルパイの接待
- ・平成27年2月11日(水)ロビーに午前11時集合
例会 (約50名出席)にメイキャップ(12:00~13:30)
 - ・国家斉唱(君が代、オー・カナダ)
 - ・会長挨拶 先住民酋長挨拶 市長挨拶 ガバナーエレクト挨拶
 - ・姉妹クラブ締結書署名 バナー交換
 - ・当方委員長・会長挨拶 重田先生メッセージ披露
 - ・当方のクラブ紹介 土産のダルマさん最中贈呈 ダルマ縁起説明例会後 先方会員の好意で遊覧飛行 農場見学 先住民地域視察

夜 当方3つのグループに分かれて、それぞれ、ホストファミリーの家庭接待を受ける。

- ・平成27年2月12日（木）ホワイトホースへ移動してオーロラ観察
オーロラ出てこない。
- ・平成27年2月13日（金）バンクーバーへ移動
- ・平成27年2月14日（土）バンクーバー市内観光
バンクーバー発15：05 空路帰国の途へ

3. ウェルカムパーティー

平成26年2月10日午後4時10分にチリワックのベストウエスタンホテルに着く。ここで、ウォルターさんとギャリー会長の出迎えを受ける。

私たちは、初対面である。形式的な挨拶を交わし、午後6時40分に再び迎えに来るといふ。ウェルカムパーティーの誘いである。

また、迎えに来ていただいたギャリー会長から両国の国旗をモチーフにしたバッジのプレゼントがあった。

ウェルカムパーティーは、京都という看板のあるレストランで行われた。料理は中華で、のみ物は地元のビールである。先方から10名参加し、当方7名と通訳をいれて総勢18名のパーティーである。先方の10名の中には、会長、幹事（女性）、前会長（女性）、会長エレクトが含まれている。

当方から、それぞれ個性的な自己紹介を行い、先方からも自己紹介を受けて、和気あいあいのうちに懇親が深まっていった。

高崎北ロータリークラブには女性会員がいますか？ 東日本大震災の復興の状況はいかがですか？ 等の質問を受ける。高山会長からは、チリワックの義捐金で、災害を受けた家庭の学生を対象として、奨学金制度を創設したことが報告された。女子学生は挨拶のなかで涙を光らせて、ロータリアンに感謝した。日本の男は、女の涙に弱いんだと言ったら、カナダも同じだと応じてきた。

ウェルカムパーティー後、ウォルターさんの家庭に招かれて、コーヒーと手作りのアップルパイの接待を受ける。ハッピーワイフの紹介、後から駆け付けた会員も加わり、懇親の度合いがさらに深まった。

ウォルターさん84歳の家には、兜の飾り物があり、高崎白衣観音の大きな写真などがあり、高崎を訪問した時の香りが、いまだに漂っていた。（文責 井田）



4. 例会

翌日11日水曜日の午前11時00分に宿泊しているベストウエスタンホテルのロビーに集まりウォルターさんから午後の観光について説明を受ける。正午少し前に訪問団7名は3組に分かれ、各々予定されているディナーのホストのリードで会場に入る。

会場は当高崎北R Cの例会と同程度の規模で、丸テーブルに8名程度の会員がにぎやかに談笑していた。井田団長、高山会長ともこれから始まるスピーチを前に若干緊張気味で開始を待った。

例会は、ギャリー会長の点鐘に始まり我々訪問団の歓迎一色。まず初めに国家斉唱、日本の君が代に続きカナダの「オーカナダ」であった。高山会長の特訓の甲斐があった。

高山会長による訪問メンバーの紹介が行われ、来賓の挨拶となった。来賓は、先住民族の酋長、チリワック市の女性市長、そしてガバナーエレクトである。我々に歓迎の挨拶をする為にご来訪いただいたということであった。先住民の酋長からは、太鼓らしき楽器を敲きながら歓迎の歌が披露された。

ガバナーエレクトは、姉妹クラブ締結書「TWIN CLUB CERTIFICATE OF RECOGNITION」を準備しており、これに両会長が署名を行った。続いて、バナーの交換を行い、更にギャリー会長から訪問記念の盾の贈呈を受けた。盾には「・・・AND OF OUR ENDURING FRIENDSHIP FOR THREE DECADES」と記載されている。

次がいよいよ我々の英語によるスピーチである。

まずは井田訪問団長が、A flower unintentionally invites a butterfly.・・・（花無心にして、蝶を招き・・・）と良寛の漢詩の英訳から始まる交流再開の挨拶（資料1）及び被災者の公式データの紹介と義捐金に対する日本政府の公式な感謝の意を表する声明文（資料2）を紹介した。

続いて、高山会長が歓迎へのお礼、チリワック・フレイザーロータリークラブの名称を付した奨学金制度の設定について等、メモも見ずに英語でスピーチ（資料3）を行い、重田パストR I 理事から預かった手紙（資料4）を披露したところ、長い拍手が続いた。

次に、幹事平田が予め準備したパワーポイント（資料5、資料6）を使ってクラブの基本的な状況（現況報告書の記載事項）、当年度の目標、ロケーション等の紹介及び例会・行事等について会報に掲載した写真等を使って紹介した。

英文スピーチの最後は、大井田親睦委員長がお土産に持参した「だるまさん最中」にちなんで、ダルマの紹介を行った。各テーブルには廣瀬次年度幹事の提供によるダルマの紹介文（英文）を配布した。

1時間半の例会は10分程度の時間超過で終了となり、多数のメンバーと握手をして「シーユーアゲイン」。

例会終了後、早速当クラブのバナーを壁に飾ったと案内され、その前で記念撮影を行い、例会場を離れた。





5. 観光

例会の後、(1) セスナで空から広域の観光、(2) 車で市内の観光ツアー (3) 酪農農場の見学を企画していただいた。

ちなみに、カナダについては寒い雪国を想像していたが、この時の気候は、寒くない、風もない、雪もない観光日和であった。

(1) 超小型 (4 人乗り) プロペラ機 (セスナ?) で遊覧飛行

風は強くないが大丈夫だろうか? メンバー全員の気持ちの中にそんな感じがあるなか、JTB 経由で依頼した通訳のハリー中元さん (日系二世) は、海外旅行保険の対象外であることをしきりに耳打ちする。しかし、断れない雰囲気で見悟を決める。

この遊覧飛行は、会員ミッシェルさんが支配人を務める航空会社の事業で、奥様のジャネットさんがパイロットである。彼女はおおらかそのもの、元気よく明るい声で操縦しながら観光ガイドを務める。ごく簡単に飛び立ち、ふわりと浮くと止まっているかのようにスピード感がない。

チリワックに雪はなかったが、周りは雪をかぶった山に囲まれフレイザー渓谷の豊かな水と緑に囲まれた環境が空からよく理解できた。

セスナのライセンスはどれくらいでとれるのか? との声もきかれ、当クラブでパイロットが誕生する可能性もあるかも?



(2) 車で市内の観光

セスナ観光の裏チームは、ボビンズさんの運転で市内観光、チリワック市は人口 90,000 人程で、高崎より小さいが、3 ロータリークラブに 300 人のロータリアンが

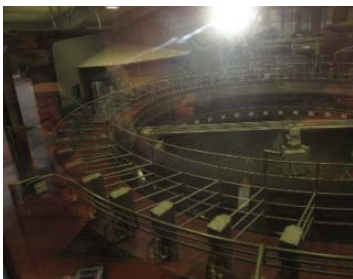
生活している地方都市である。地主である先住民族との共存に気を配っている状況が推察された。

84歳のウォルターさんが同乗して観光ガイド、この時にモーレツなジェットラグと心地よい車の揺れについ居眠り。ウォルターさんから「お疲れですね」と声をかけられ。恐縮です。

(3) 酪農農場の見学

最後に全員で、会員のブライアンさんの従兄が経営する酪農農家を視察。50頭の搾乳が一度にできる回転式の搾乳機を導入し、子息を含め6人程度で700頭（うち子牛約200頭）を超える乳牛を飼育しているという。

最後に搾乳機及び牛乳タンク施設の屋根裏部屋に案内された。そこはなんと20人程が集える娯楽施設 “MAN CAVE” と書かれたバーカウンター、ビリヤード台及びカードゲームの卓が揃えられ、Budweiserのネオンサインが雰囲気を出していた。



6. ロータリアン宅のディナー

3組に分かれて、例会で同席した会員の自宅に招待され夕食を頂いた。各家庭共に超豪邸でした。

(1) 高山、井田及び平田チーム

ホストのブライアンさんご夫妻宅へ、ゲリー・アンスさんご夫妻と共に訪問。キッチンカウンターで、グラスビールを手にして応接室へ移動、簡単な自己紹介等で会話が進み、ダイニングへ移動しディナースタート、ご主人のブライアンさんの手料理とのことであるが、パスタ、鶏肉のソテー及びアスパラ等ワインと共になかなか美味であった。ここでゲリーさんから例会での英語のスピーチにお褒めの言葉を頂ことができた。1年間のレッスンの成果か？ スキー・ゴルフ等趣味の話題となりホストのブライアンさんのガレージで紹介されたのは、超大型ハーレー・ダビットソン。

通訳なしで話が弾み、楽しく貴重な家庭訪問体験となった。 (文責 平田)

(2) 島津、大井田チーム

ホストのハワードさんご夫妻宅へ。バーベキュー用のグリルのあるテラスにてビーフ・サーモン・アスパラを焼いて頂いた。サーモンはご自身で釣った鮭だそうです。テラスの先には25mプールがあり優雅な雰囲気でした。食卓で地ビールとワインを囲み、島津さんと4人で会話が弾みました。リビングに絵画が多く飾ってあったので、聞くと娘さんと息子さんの絵だとの事。家族旅行の光景も立派な油絵にされていました。デザートのアップルパイは絶品の味でした。おしゃれなリビング空間で、あちこちに配置されたキャンドルライトに粋なおもてなしを感じ、とびきりのひとときを過ごせました事心より感謝申し上げます。 (文責 大井田)



(3) 川本、小曾根及び通訳ハリー中元チーム

商工会議所の役員であるフィニーさんの出迎えで、フィニーさんのお宅に訪問した。フィニーさんのご主人、ギャリー会長ご夫妻、アルゼンチンからの受入中の女子留学生及び訪問団3人の合計8人のディナーである。応接でビールを頂き、30分ほどの談笑ののち食堂へ移り人参・ジャガイモ・鶏肉の大皿料理のディナーとなった。毎年留学生の受け入れを行っており12人目とのことであった。

日本との相違点等の話題で3時間が経過し、帰りはフィニーさんのご主人にホテルまで送っていただいた。
(文責 小曾根)

7. 翌日の朝食会

チリワック出発日の朝7:00にロビー集合。サッスルさんおすすめのホットケーキで有名なチェーン店“IHOP”(アイホップ)で朝食会。ギャリー会長とボビンズさんが参加した。別れを前にギャリー会長から2日間の締めくくりの挨拶があり、記念品として先住民の作品(置物)をプレゼントされた。



8. 頂き物・持参したもの

(1) 持参品

- ・ バナー
- ・ だるまさん最中
- ・ 会報(英訳版) No.19、No.20
(FUJI XEROX スキャン翻訳サービスによる)

(2) 頂き物

- ・ バナー
- ・ 訪問記録の盾
- ・ 先住民族作成の木の彫り物
- ・ 両国の国旗をモチーフにしたバッジ
- ・ チリワック市のバッジ(市長より)
- ・ カナダ国旗のマグネット及び国旗のバッジ





9. 例会登録料と懇親会費の対応

例会及び懇親会の登録料として700カナダドル（@CKD100×7名（約70,000円相当））をギャリー会長にお渡ししたところ、クラブとして福祉関係の寄付として使用することで了解を求められ、了承した。

10. オーロラツアー及びバンクーバー観光

12日朝食会のあと8:00にホテルを出発、バンクーバー空港からオーロラを求めてホワイトホースまで約2時間半のフライト、現地は曇り、マイナス30度に備えて防寒着を借り食事を済ませ、夜10:00オーロラ見学用のパオに入る。深夜2:00までまつも雪模様で残念でした。次回の楽しみとなった。

翌13日は、当然に朝寝坊、大幅に遅れたフライトで午後7:00バンクーバー着。井田団長、島津団員が旧知の仲であるバンクーバー在住の須藤さん紹介の中華レストランで食事。

最終日14日は、須藤さんの案内でバンクーバー市内を徒歩で2時間ほど市内観光、連絡船と地下鉄も経験することができた。

11. 団員からの一言

・井田団長

今回の親善訪問は、チリワック・フレイザー・ロータリークラブの皆様の熱い友情を感じる日々でありました。そして、どれもこれも、普通のツアーでは体験できない新鮮なものでありました。

・島津団員

国際親善ロータリーを堪能させて頂きました。カナダのチリワックの愛情に感謝させて頂き楽しい時を過ごさせて頂きました。ロータリーの楽しさは、国際交流が最高の味わいです。さあ、ロータリーを楽しむために英語を勉強していきましょう。

・大井田団員

想像以上の歓迎・歓待をお受けし、ウエルカムパーティー・例会はもとよりご案内を受けた先々でもサプライズの連続でした。これもひとえに今までの友好関係の歴史のお蔭であると感じました。またこの度のチリワック訪問を機にその姉妹提携に於いてその絆・親睦関係は一段と深まったものと思われまます。チリワック・フレイザー・ロータリークラブの人達の友情のあるおもてなしの数々に心から感謝致しますと共にこの友好親睦の更なる継続を願い、ロータリアンとしての意味を自覚していく所存です。オーロラはほとんど見えませんでしたので、又行きたいと思える、とても意義深い旅でした。

- ・小曾根団員

チリワックではロータリアン同士が互いの家庭を訪問する場合に、何らかの持ち寄りでパーティーが行われると聞いた。ロータリアンの家庭に訪問することを想定していなかったために家庭へのお土産の準備がなかった。習慣・文化の違いも想定して準備することも必要かもしれない。

- ・川本団員

私自身あまり考えず、ほとんど無計画に参加致しました。

訪問団はチリワックの少ない情報の中手探り状態で、何を向こうで行うのか、準備は私を除きしっかり行っていたようですが、相手次第、先方に行ってから対応しようという事でした。

しかし、ホテルに到着するや出迎えを受け、その後の案内が有り、しっかり準備していたようです。

中華ディナーパーティ、翌日昼の例会、サプライズの軽飛行機遊覧、市内観光、農場視察など多くのロータリアンがしっかりエスコートをしてくれました。

しかも二夜ともロータリアンの家庭に招かれ、食事をしながら英語が苦手の私にはボディランゲージによる談笑は、友好をより一層深めたと思います。

お別れは、最終日アイホップでのホットケーキでの朝食会でしたが、最後まで楽しく交流をはかる事ができました。

- ・平田団員

入国審査で、行き先はチリワック、目的はサイトシーイングと答えたら怪訝な顔をされ、ロータリークラブへの訪問と言い直すと納得したようでした。

先方クラブは、例会の予定を変更せざるを得ない突然の訪問でしたが、特定のメンバーだけでなく、ウエルカムパーティーから朝食会まで、外部の来賓や家族を含め多くの方々の役割分担により歓迎を受けました。このような組織的な対応に敬意と感謝の意を表したいと思います。

12. 会長の総括

現地を訪問してはっきりと、先達の培った友情は脈々と心底に流れているのを実感しました。

想えば、あの東日本大震災に思いもかけず送られてきた義捐金にわがロータリアンは皆深く感動し、友情がまだまだ続いていることを感じ取ったのでした。

わがクラブを挙げて友好関係を復興しようという機運が盛り上がり、その情熱を背に一杯受けて、すばらしい同志6人と共に勇躍チリワック市に渡り、蛮勇を奮ってまいりました。先方の熱い友情と、わが6人の同志の魅力、ならびに幾多の僥倖のお蔭で、姉妹提携の再確認のCertificateを取り交わし、親睦関係を取り結ぶことが出来ました。

国内に新潟東、アジアに台北首都、そして欧米にチリワック・フレイザー。世界に同じ志を持つ友達ができました。これらのロータリアンと生き生きとした親睦を深め、世界平和に貢献したいものです。

以上

Greeting of meeting again

We are happy to meet you again. There is an old saying. That goes by. ,

A flower unintentionally invites a butterfly.

A butterfly unintentionally visits a flower.

When the flower blooms the butterfly comes.

When the butterfly comes the flower blooms.

Likewise, I don't know all people.

All people do not know me neither.

Without knowing, we follow the natural law.

On this time, we , members of Takasaki North Rotary Club could visit here in Chilliwack Fraser Rotary Club after the abovementioned "Butterfly" comes.

Looking back over the past year, we had started to build the friendship among us for about 35 years since 1980.

Since then we have accepted and delegated exchange students 8 times.

Mr. Walter's daughter and my daughter, Keiko were included in those exchange students .

Thanks to the this opportunity, we received your generous contributions for Great East Japan Earthquake and Tsunami 4 years ago.

We, Takasaki North Rotary Club Members were deeply impressed for your great and thoughtful hospitality and then the Friendship flowers could bloom again!

We are truly grateful that we could visit Chilliwack Fraser again!

Thank you very much for your kind attention.

10th Feb. 2015

Mitsuyoshi IDA

Sister Club Chairman

Takasaki North Rotary Club

Great East Japan Earthquake

March 11th, 2011

Official Data: Dec.2014

Magnitude: 9.0

Death Toll: 19,074

Missing Person: 2,633

Many people still live in temporary house.

We appreciated for your warm and kind much contributions on behalf of Japanese Prime Minister, Japanese Government and Japanese peoples.

これは2014年12月末の公式データですが21,707名の死者・行方不明者がおり現在復興開発中です。

我々は、あなた方の心のこもった多額の義援金にたいして、日本の総理大臣・日本政府・日本国民を代表して感謝申し上げます。

Greeting

Hello. I am Hideo Takayama, President of Takasaki North Rotary Club in Japan.
I will make an address on behalf of my Club.

We have been looking forward to visiting Chilliwack/Fraser Rotary Club for a long time.
I am afraid we have put you through many troubles due to our hurry visit.

This is our second visit to your club. But we feel as if we have done it so many times
Because your club and ours have a long history of international service.
Back in the days, we dispatched several exchange students mutually. Moreover, we visited
each other very actively. Our friendship matured until we had a sister tie in 1990. We
are so sorry about poor contacts due to various circumstances. But we kept having our
friendship in our mind.

Now, I would like to read the message for Masanobu Shigeta, Past RI Director and a senior
member of our club.

In addition to it, I would like to tell you that we founded “Chilliwack/Fraser RC memorial
scholarship fund” in honor of your club.

Well, both you and we have the same senses of value, for example, democracy, freedom,
tolerance and so forth. And the whole members of both clubs are well acquainted with
vocational service, tolerance, friendship et cetera advocated by Paul Harris and Arthur F.
Sheldon. I am sure we would be able to achieve world peace when the two
clubs would promote friendship and have tight connections with each other. That is the
ultimate goal of international rotary club, I believe.

However, as you know, there are several million meters between Chilliwack and Takasaki.
Can the long distance be an obstacle to our friendship? The Chinese famous
thinker Confucius said “ some friend has come here who lives at a great distance. How
delightful it is! “. I am convinced there are things that we love all the better because of the
distance.

We are truly delighted to make friends with you.

I would like to conclude my message now. Thank you very much for your attention.

**Dear President Gary Armstrong, Secretary Hank Pilotte
And all the members of Chilliwack/Fraser Rotary Club**

It has been exactly 30 years since members of our Takasaki North Rotary Club last visited your Club, but actually relations began 5 years earlier than that, when in 1980, we hosted exchange students from each other's cities.

It was then we had the pleasure of hosting Dr. Walter Sussel's daughter, Lori, and the friendship between us began, which eventually blossomed into our sister club relationship.

However, as often is the case, people who live far away begin to lose touch as they all go on with their busy lives. That being said, you can imagine our surprise to receive your letter offering support in the aftermath of the Great Eastern Earthquake and Tsunami of March 11, 2011.

Needless to say, we were all deeply moved by your kindness and we have used your generous donation for scholarships to help students from the disaster area. On behalf of all the members of our Club, I would once again like to offer you our heartfelt thanks.

I would like you to know that it was through the enthusiastic efforts of President Hideo Takayama in organizing the Special Committee for Resumption of Friendship between Chilliwack/Fraser Rotary Club and ours, and Mitsuyoshi Ida, the Chairman of the Special Committee, that this visit is now taking place.

Personally, it gives me great pleasure to know that the friendly relations we started so long ago will continue on into the future.

It is an honor for me to express our Club's sincere respect to you, and our gratitude for your hospitality in welcoming our delegation. Thank you very much.

Warmest regards,

Masanobu Shigeta, Past RI Director



The Rotary Club of Takasaki North

The introduction our Rotary Club

2015/2/11

About our Rotary Club

1. Foundation: June 1968
2. The number of persons in our club: 67 (at 7/1/2014)
3. Meeting Date/Time: Wed.12:30-13:30
4. Meeting Place: Takasaki View Hotel
5. Office: Takasaki View Hotel 615 70 Yanagawa-cho Takasaki Gunma 370-0815 Japan
 1. TEL. 027-330-6060 FAX. 027-330-606 E-Mail: takakita@k1.wind.ne.jp
6. President: Hideo Takayama Secretary: Minoru Hirata

General policies that guide our club and its various activities.

1. Resume friendship exchange with clubs overseas.
2. Actively maintain fellowship with other clubs .
3. Promote further participation in committee activities.
4. Female member club participation discussions.
5. Implementation of mock business interviews.
6. Avoid a low attendance rate trends through many different measures.

District Goals

- Support the Great East Japan Earthquake Reconstruction.
- Implementation of IM (Inter City meeting).
- Increasing the number of women members alongside establishing a female network committee.

Numerical targets for our club

1. Donation goals

① Rotary Foundation annual donation

More than \$ 150 per person

② Polio Plus donation

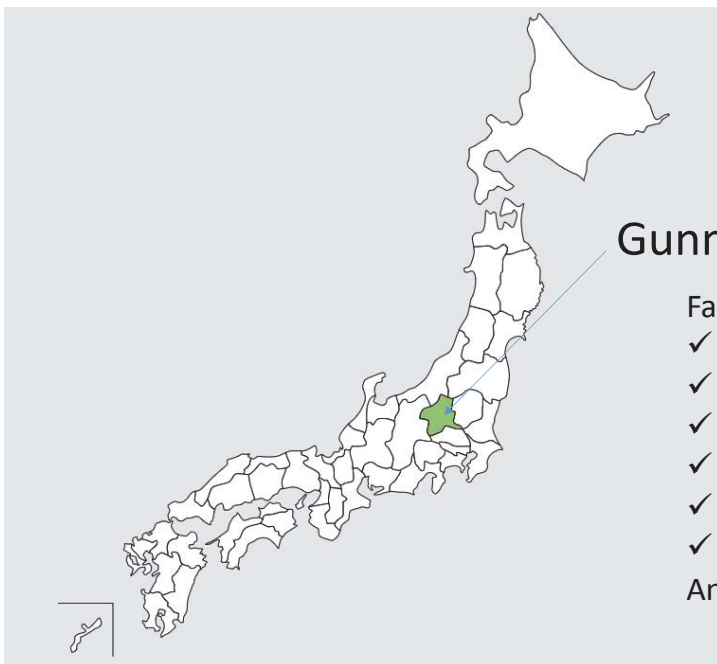
More than \$ 20 per person

③ Yoneyama Memorial Scholarship Foundation

More than 16,000 yen per person

2. Membership goals

Net increase of more than 5 persons

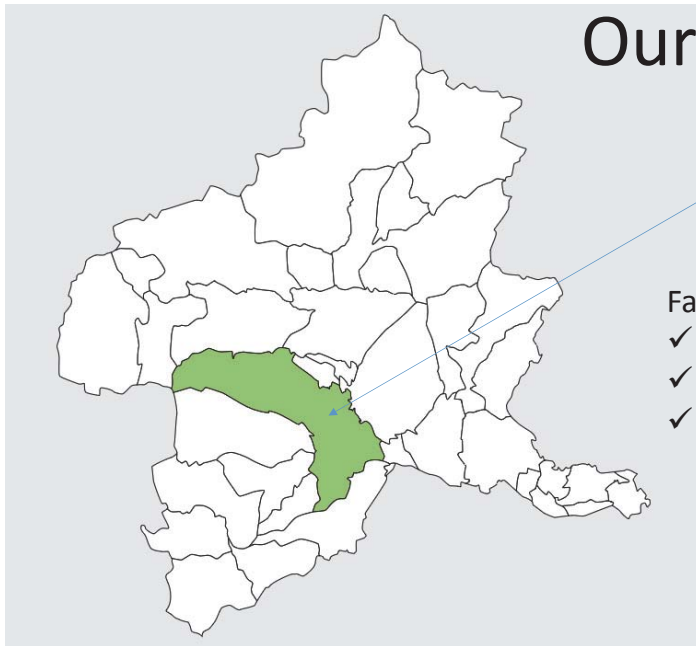


Gunma Prefecture

Famous for

- ✓ Hot spring ex. KUSATSU, IKAHO
- ✓ His wife is boss in his house.
- ✓ Strong dry wind.
- ✓ Silk
- ✓ The beautiful natural environment
- ✓ Gunma – Chan
- And others





Our City

Takasaki - Shi

Famous for

- ✓ Daruma Temple
- ✓ The Kannon dressed in white clothes.
- ✓ An important point of traffic (junction)

Attractions (1) Daruma Temple



DARUMA

だるま

The chief priest of this temple is one of our members.



Attractions (2) The Kannon dressed in white clothes



3 Mountains +1



Mt. Akagi



Mt. Haruna



Mt. Myogi



Mt. Asama

Photos of our club

Meeting before this year in Niigata



Night meeting “Watch a football”



Mr. Tkayama in aurora Vision
Sponsor's speech

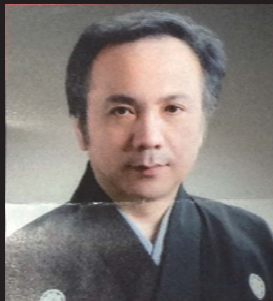


Our meeting : Various Guest Speakers





A classical Japanese dense-drama



Mock business interviews Takasaki commercial High School



Kabuki-za tour Nov.1.2014

